

安心して住めるまちを歯科からつくる よしだデンタルクリニック通信

vol.3 小田原市小船 172-12 電話 0465-43-4182

こんにちは（医）聖湘会 よしだデンタルクリニックです。

新型コロナウイルスの流行により、世界中が翻弄されています。よしだデンタルクリニックでも、4月11日よりスタッフを自宅待機とさせ、院長1人で急患対応のみの診療をしていました。5月7日より患者数を制限し、より一層の衛生管理を徹底して通常診療に戻りましたが、まだ完全収束までの道のりは長そうです。歯科治療は直接口腔内に触れるため唾液を介しての感染の危険がありますが不要不急のものではありません。今回のよしだデンタルクリニック通信は、当院で行っている新型コロナ対策について特集したいと思います。

—新型コロナに対する予約・受付から診療までの流れ—



まず、電話予約の段階で、発熱や咳、新型コロナに感染または感染の疑いがある方との接触の有無に関する質問をさせて頂き、体調に問題がないか確認させていただきます。

診療所には2つのドアがありますが、自動ドア以外のドアは開放して手で触れること無く待合室に入れるようになっています。待合室も窓を開け換気しています。患者数を制限し、待合室内で密にならぬよう注意していますが、椅子は間隔を空けて座るようお願いしています。

受付には透明なシートを下げ、患者さまとの会話の中で飛沫が飛ばないように配慮しています。毎回、体調に関する問診表の記入をお願いし、異常がないか確認させていただきます。

スリッパは出してあり、手で触れること無く履いてもらえるようにしています。診察室に入る際にはアルコールによる手指の消毒をお願いし、非接触型体温計による検温を行っています。

治療用の椅子に座った際には、使い捨てのエプロンをかけ、うがい薬の入ったコップ（もちろん使い捨てのものです）で口腔内の消毒をお願いしています。



治療に使う器具（ピンセット、ミラー、探針、エキスカベーター、練成充填機、トレー）はすべて患者さん毎にオートクレーブという機械によって滅菌されています。この機械は高圧蒸気滅菌といって、ウイルスを感染させないようにする殺菌だけではなく、芽胞というウイルスの元から完全に滅菌するものです。歯を削るタービンも同じように毎回滅菌されたものを使用しています。



スタッフは使い捨てのマスク、グローブを使用し、ゴーグルをつけて治療にあたらせていただいています。院長も同じように使い捨てのシェードガイド付きマスク、グローブ、キャップを使用して治療にあたります。また、歯を削る際や歯石の除去の際にはどうしても飛沫が飛びます。そのため口腔外バキュームという装置を使用し、飛沫の吸引を行いながら、治療をしています。歯の型を採った際には次亜塩素酸水にて消毒してから石膏模型を作ります。また、診療室内に次亜塩素酸水を噴霧し、診療室内のウイルス除去もしています。治療後はアルコールにて治療用の椅子周りをすべて殺菌してから次の患者さんに入室していただくようにしています。

